

# 10年後の東京を見据えた新しい日常におけるバリアフリーの推進について（意見具申）の概要

## 《本意見具申の意義》

東京2020大会を契機とした都市のレガシーとして、年齢、性別、国籍、個人の能力等に関わらず、誰もが外出や活動を楽しむことができるよう、ハード・ソフト一体的な「ユニバーサルデザインのまちづくり」が社会に浸透することを目指す。

→ 10年後の東京を見据えて、これまでの取組や現状と課題を整理した上で、更なるバリアフリー化の推進に向けた今後の方向性を提言

## 第1章 都における福祉のまちづくりのこれまでの進展

- 福祉のまちづくりに関連した取組の経緯  
福祉のまちづくり条例等関係条例の制定や改正等
- 「福祉のまちづくり推進計画」に基づくまちづくりの推進  
計画期間：令和元年度から令和5年度 ※関係各局 120事業で構成  
⇒ 令和3年度末までの進捗状況・取組の成果
- (1) 誰もが円滑に移動できる交通機関や道路等のバリアフリーの更なる推進  
・鉄道駅のエレベーター・ホームドア等整備、ノンステップバス、UDタクシー等  
・道路の誘導用ブロック・エスコートゾーン等整備、バリアフリー基本構想等
- (2) 全ての人々が快適に利用できる施設や環境の整備  
・建築物等における福まち条例等の運用、宿泊施設のバリアフリー化支援等  
・公園、公共住宅等でのバリアフリー化
- (3) 災害時・緊急時に備えた安全・安心のまちづくりの推進  
・ヘルプカード作成促進、社会福祉施設の耐震化等
- (4) 様々な障害特性や外国人等に配慮した情報バリアフリーの推進  
・手話のできる都民育成、東京ひとり歩きサイン計画等
- (5) 都民等の理解促進と実践に向けた心のバリアフリーの推進  
・普及啓発ポスターコンクール、サポート企業連携事業、福祉教育等
- 福祉のまちづくりに関する都民の意識調査結果（令和3年度実施）

## 第2章 国等の動向

- 「障害者権利条約」の批准と国内法の整備  
障害者差別解消法、国連による総括所見等
- バリアフリー法の改正等（令和2年5月以降）  
各種ガイドラインの改訂、学校施設のバリアフリー化に向けた動き等

## 第3章 バリアフリー化の推進に向けた課題と方向性

### 1 東京2020大会を契機として進展した当事者参画の更なる展開

- ◆ 効果的な事例を検証し、取組を行うためのポイント（効果・手法等）を集約
- ◆ 他の地域や事業者等への好事例の波及により、当事者参画の機会を増加

### 2 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの理解促進

- ◆ 老若男女問わず多くの人の理解と実践に繋げるため、多様な人々の生活シーンをイメージ、双方向でのコミュニケーションを意識できるよう、工夫して発信
- ◆ 障害等の当事者・障害のある児童生徒との交流など、学校教育と連携

### 3 誰でも利用目的どおりに使えるためのハード整備と連動したソフト対策（情報バリアフリー・人的サポート）の充実

- ◆ 誰もが必要な情報をスムーズに入手できるよう、施設種別ごとに必要な情報提供項目を整理・共有し、施設管理者等による自主的な発信等を促進
- ◆ バリアフリー化された施設はもとより、ハード整備が行えない場合も含めて、必要な人的サポートや配慮の工夫を具体化できるよう、各施策を強化

### 4 生活に身近な建築物等におけるバリアフリー化の推進

- ◆ バリアフリー基本構想等と連動して事業を行う場合の財政支援策の周知等
- ◆ 鉄道駅でのホームドア等の設置支援、道路管理者が連携したバリアフリー化

### 5 防災対策や観光施策等におけるユニバーサルデザインの推進

- ◆ 避難所となる学校施設等におけるトイレ等のバリアフリー化・情報伝達等
- ◆ アクセシブル・ツーリズムの更なる普及と気運の醸成

# 東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況 ① 公共交通

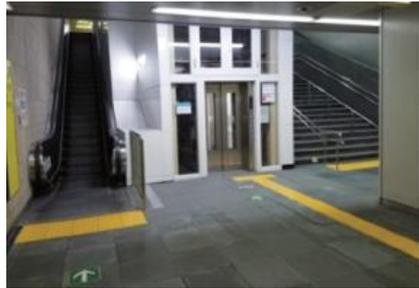
- 都内鉄道駅での**バリアフリールート※確保**、**視覚障害者誘導用ブロック**・**車椅子利用者対応トイレ等の設置**がほぼ全駅で完了  
**複数の出入口や乗換経路におけるバリアフリールート確保**も、都が示した優先整備の考え方にに基づき、各鉄道事業者が計画的に推進
  - 利用者が10万人以上のターミナル駅に加えて、競技会場周辺の最寄り駅や空港アクセス駅等において、**ホームドアの整備**が促進
  - 地域の身近な移動手段である**路線バス車両のノンステップ化**がほぼ完了
  - 環境性能が高く、車椅子のまま乗降できる**ユニバーサルデザインタクシー車両**が普及
- ※バリアフリールート：駅出入口からホームまで段差なく移動できる経路

## 鉄道駅



エレベーター等による1ルート確保状況  
〈都市整備局・交通局〉

H25末 95.4% → R3末 98.0%  
※都営地下鉄 100%



視覚障害者誘導用ブロックの設置状況  
〈都市整備局・交通局〉

H25末 99.2% → R3末 99.9%  
※都営地下鉄 100%



車椅子利用者対応トイレ等の設置状況  
〈都市整備局・交通局〉

H25末 94.1% → R3末 97.1%  
※都営地下鉄 100%



ホームドアの設置状況  
〈都市整備局・交通局〉

H25末 30.1% → R3末 49.3%  
※都営地下鉄 85.3%



## 路線バス

### ノンステップバスの普及状況

〈都市整備局・交通局〉

H25末 89.2% → R3末 95.8%  
※都営バス 100%



## タクシー



ユニバーサルデザインタクシーの普及状況  
〈環境局〉

補助実績 H28末 3台 → R3末 13,887台

# 東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況 ② 道路・公園

- 競技会場や観光施設周辺の道路を中心に、歩道の段差解消・勾配の改善、視覚障害者誘導用ブロックと交差点のエスコートゾーン、視覚障害者用信号機等の連続的な整備が進み、利用者の多い主要駅周辺等の都道では、無電柱化と一体的な整備を推進
- 競技会場、練習会場等となる都立公園や海上公園を中心に、園路での勾配の改善やスロープ・手すりの設置、視覚障害者誘導用ブロックの設置、トイレでの洋式化やオストメイト用設備・乳幼児用設備の設置等を推進

## 道路



### 都道のバリアフリー化 〈建設局〉

特定道路等の整備 (H27末 327km(完了))

優先整備路線の整備 (うち競技会場周辺等の都道)  
(H28末 約18km → R2末 約90km(完了))

### 都道の無電柱化

都内(都道)の地中化率〈建設局〉

センター・コア・エリア内  
(H25末 85% → R1末 概ね完了)

第一次緊急輸送道路 うち環状七号線  
(H25末 27% うち環状七号線 25% →  
R3末 45% うち環状七号線 56%)



### 道路標識の整備

すべての人にわかりやすい道路案内標識の整備  
(「東京みちしるべ2020」)〈建設局〉

H27末 1,642枚 →  
R1末 10,515枚(完了)

### エスコートゾーンの設置状況 〈警視庁〉

H25末 536か所 → R3末 746か所

臨海部におけるバリアフリーの推進  
競技会場や観光施設周辺道路の整備  
〈港湾局〉

H30末 3km → R1末 10km(完了)

## 公園



### 都立公園の整備

誰もが快適に利用できる公園を整備〈建設局〉

H26~R3整備実績 累計54.6ha新規開園



### 海上公園の整備

競技会場等となる既存公園の整備改修〈港湾局〉

H26~R3整備実績 のべ27箇所



# 東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況 ③ 建築物・面的整備等

- 都立の**競技会場**では、「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」に加えて、「**アクセシビリティ・ワークショップ**」での意見を踏まえて**整備**
- 都や区市町村の**スポーツ施設**、**都庁舎**、**都立の学校**、**文化施設**、**公共住宅等**において、改修や新設の際にバリアフリー化が進展
- **宿泊施設**の**車椅子利用者用客室**や**共用部のバリアフリー化**を促進、**一般客室の整備基準**を条例化し、あわせて**約3,200室を確保**
- 区市町村が作成した**バリアフリー基本構想に基づく面的整備**や、障害当事者等の**住民参加によるバリアフリー化改修等**が促進

## スポーツ施設

**オリンピック・パラリンピック競技会場の整備**  
 都が新設する恒久施設について  
 ユニバーサルデザインの視点に立った整備を行う  
 〈生活文化スポーツ局〉

H26～R1整備完了  
**有明アリーナ、大井ホッケー競技場 等**

**都立体育施設等のバリアフリー化**  
 大規模改修に合わせ  
 必要なバリアフリー化工事を実施  
 〈生活文化スポーツ局〉

H27～R3整備実績  
**有明コロシアム、東京体育館 等**



**区市町村立スポーツ施設のバリアフリー化**  
 スポーツ環境の拡大工事やバリアフリー工事等  
 を支援 〈生活文化スポーツ局〉

補助実績 H26～R3のべ**262件**

## 宿泊施設



**宿泊施設のバリアフリー化**  
 客室等のバリアフリー改修等支援  
 〈産業労働局〉

補助実績 H26～R3のべ**191件**

※R4.10月末時点（R3実績は交付決定ベース）

## 面的整備・当事者参画



**ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業**  
 障害当事者等の住民参加による調査を踏まえた  
 施設のバリアフリー化改修等に取り組む  
 区市町村を支援 〈福祉保健局〉

補助実績 H29～R3 のべ 点検事業 **29件**  
 緊急整備 **45件**  
 トイレ洋式化 **3,697基**  
 トイレ環境整備**111か所**



出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省）

**バリアフリー基本構想等作成事業**  
 区市町村のバリアフリー基本構想等  
 作成費補助 〈都市整備局〉

補助実績 H26～R3のべ**26区市**



# 東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況 ④ ソフト面

- 東京2020大会に向け、障害の有無に関わらず、互いに尊重し合える「**共生社会の実現**」を目指し、心と情報のバリアフリーの取組を推進
- 人々の意識の中で作り出され、社会や環境にあるバリアをなくすために必要な行動を続ける、「**心のバリアフリー**」の社会的気運を醸成
- 誰もが必要な情報をスムーズに入手できるよう、「**情報バリアフリー**」の充実を図り、大会後には手話言語条例を制定
- 障害者や高齢者、外国人旅行者等が安心して東京での滞在を楽しめるよう、**アクセシブル・ツーリズムの普及**や**多言語対応**等を促進

## 心のバリアフリー

シティキャスト（都市ボランティア）に対する研修  
シティキャストの育成に向け研修等を実施  
〈旧オリンピック・パラリンピック準備局：R1～3〉

### 心のバリアフリーサポート企業連携事業

心のバリアフリーの推進に取り組む企業等を登録し、好事例企業等の取組状況を公表  
〈福祉保健局：H30～〉

心のバリアフリー普及啓発ポスターコンクール  
都内の小学生・中学生を対象に作品を募集し、入賞作品を活用したポスターを幅広く配布  
〈福祉保健局：H28～〉

「心のバリアフリー」の実践に向けたハンドブックの作成  
障害の社会モデルやコミュニケーション、適切な配慮について、具体的な事例を交えて紹介  
〈福祉保健局：H29〉



## 情報バリアフリー

バリアフリー情報のオープンデータ化  
都内公共施設等の車椅子利用者対応トイレの情報をオープンデータとして公表  
〈福祉保健局：H30～〉

R3末時点 **8,713基**

とうきょうユニバーサルデザインナビ  
外出に必要な情報が集約されたポータルサイトを運営  
〈福祉保健局：H27～〉



TOKYO障スポ・ナビの運用  
障害者のスポーツに関する様々な情報を掲載したポータルサイト  
〈生活文化スポーツ局：H24～〉



手話のできる都民育成事業  
手話及び聴覚障害の普及啓発イベント等を実施  
〈福祉保健局：H26～〉

R3末時点 **9,906名**



## 観光

### アクセシブル・ツーリズムの推進

① 障害者や高齢者等が積極的に外出して、様々な交通機関を快適に利用しながら旅行ができる環境を整備  
〈産業労働局：H29～〉

② バリアフリーの観光ルート上の情報をパンフレットやウェブサイトで情報発信  
〈産業労働局：H27～〉



### ウェブサイトによる観光情報の発信

東京の様々な観光の魅力が多言語でウェブサイト「GO TOKYO」等により発信  
〈産業労働局〉

### 東京ひとり歩きサイン計画

ピクトグラムや多言語で表記した観光案内標識を設置  
〈産業労働局〉

H26年度改訂の指針に基づく観光案内標識設置実績 H27～R2 累計**554基**